



3

てんかんとけいれんって どう違うのですか？

● 秋山倫之

こんな
回答はダメ

- 『何度もけいれんするのが、てんかんです。』
- 『どちらも同じことですね。』

こう
説明しよう

- 「てんかん」という病気では「てんかん発作」が繰り返し起こりますが、「てんかん発作」にはいろいろな種類があります。「てんかん発作」の症状のひとつとして「けいれん」が起こることがある、というわけです。一方、けいれんが起きない「てんかん発作」もあります。

脳にはたくさんの神経細胞があり、脳はその電気活動によって働いています。てんかんとは、この神経細胞に異常な電気活動が起こり、脳の正常な働きに一時的な支障をきたす「てんかん発作」を繰り返す病気です。

「てんかん発作」の最中にみられる症状は、脳のどこで異常な電気活動が起こるかで決まります。脳が四肢の動きをコントロールしている場所で異常な電気活動が起これば、四肢がグーッと硬く突っ張ったり、ピクンピクンと動いたりする症状が出現します。これが「けいれん」です。逆に、四肢の動きをコントロールしている場所で異常な電気活動が起こらなければ、「けいれん」はみられません。

解説

「てんかん」は疾患名であり、「けいれん」は「てんかん発作」の一部でみられる症状です。疾患名である「てんかん」と、症状としての「けいれん」という言葉は、明確に区別して使う必要があります。

「てんかん」は、「てんかん発作」を繰り返す慢性の脳疾患です(5頁 **Q2**参照)¹⁾。

「てんかん発作」は、脳の神経細胞に異常な電気活動が起こることにより引き起こされます²⁾。この異常な電気活動が、四肢の動きを直接コントロールする一次運動野や、一次運動野と関連の強い高次運動関連領野(運動前野、補足運動野等)に及ぶと、「けいれん」が起こります。「けいれん」は、「強直けいれん」と「間代けいれん」に大別されます。

「てんかん発作」にはいろいろなタイプがあり、「てんかん発作型」と呼ばれます³⁾(**図1**)。「強直間代発作」「強直発作」「間代発作」「両側性けいれん性発作への進展を示す焦点発作(従来の用語では二次性全般化発作)」では、その症状として「けいれん」がみられます。

てんかん(疾患名)

てんかん発作(症状)

けいれんを示すてんかん発作型(発作のタイプ)

- ・強直間代発作
- ・強直発作
- ・間代発作
- ・両側性けいれん性発作への進展を示す焦点発作
(従来の用語では二次性全般化発作)

図1 てんかんとけいれんの関係性

「てんかん発作型」の名称と、発作症状としての「けいれん」という言葉も明確に区別して使う必要があります。

まとめると、「てんかん」という疾患では、「てんかん発作」が繰り返し起こります。「てんかん発作」にはいくつものタイプがあり、これが「てんかん発作型」です。一部の「てんかん発作型」では、「けいれん」という症状がみられる、ということになります。

● 文献

- 1) Fisher RS, et al: *Epilepsia*. 2014; 55: 475-482.
- 2) Fisher RS, et al: *Epilepsia*. 2005; 46: 470-472.
- 3) Berg AT, et al: *Epilepsia*. 2010; 51: 676-685.

参考

- Epilepsia. 1981;22:489 - 501.
- 寺田清人: Epilepsy. 2011;5:29 - 41.